

ごあいさつ

本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。18 回目となる「日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ（第 58 回 東京私立中高演劇発表会）」は、夏の中学私学大会（43 回）と合わせ、このたびみごとに 100 回を突破しました。すべての上演終了後、100 回突破を記念しての特別イベントも予定しております。開催にあたりましては、各方面の多大なるご支援をいただきました。特に、照明のシアタークリエイション様には、ひとかたならぬお世話になりました。厚く御礼申し上げます。なお、今年も韓国からの代表校は来日いたしません。来年以降の復活を期して交渉を続けております。では、何かと心せく年末ではございますが、ここはひととき、若い熱気と息吹をお楽しみください。（実行委員一同）

専門審査員

菊池准（演劇集団 J O K O 演出家）、オーハシヨースケ（T A I C H I - K I K A K U ・主宰）、岩田廣明（舞台監督）、内木文英（本会顧問）

生徒審査員

大原萌香（十文字・高 2）、有福香奈子（十文字・高 2）、本郷仁珠（女子聖学院・高 1）渡辺聖菜（女子聖学院・高 1）、大屋明香里（拓殖大学第一・高 2）、笠原万里奈（拓殖大学第一・高 2）

協力

（株）シアタークリエイション、鎌田英之

お手伝い校

京華学園

※プログラムの時間は多少前後することがございます。1～2 校分余裕をもってお越しください。

《お客さまへのお願い》

- ・主催者・該当校顧問から許可のない写真撮影ならびに録画はご遠慮ください。
- ・フラッシュ撮影は厳禁です。録画も客席後方の定められたスペースからのみとなります。撮影・録画は事前に各校顧問とよくご相談ください。
- ・場内での飲食はできません。校舎 1 F のラウンジをご利用ください。
- ・多くのお客さまが気持ちよくごらんいただけますよう、どうかご協力ください。



会場

京華女子中学・高等学校講堂
（都営三田線「千石駅」、
「白山駅」より各徒歩 5 分）

入場無料

実行委員会連絡先

03-3943-3651
（獨協高等学校 柳本）

日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ VOL. 18

—第 58 回 東京私立中学高等学校演劇発表会—

◎＝生徒創作 ○＝顧問創作 ●＝既成作品 ☆＝戯曲集 @＝インターネット脚本

●12月26日(月) 開場 午前9時15分

- 1 白百合学園中学高等学校 9:30～10:30
☆如月小春 作 『DOLL』(60分)
- 2 日本大学鶴ヶ丘高等学校 10:45～11:45
○むらやまだいすけ 作 『先生の話』(60分)
- 3 工学院大学附属中学・高等学校 12:15～13:05
○齋藤卓己 作 『キラキラ☆かがやけ』(50分)
- 4 日本大学豊山女子高等学校・中学校 13:20～14:10
◎演劇部 作 『学園天国』(50分)
- 5 品川女子学院 14:25～15:25
☆越智 優 作 『夏芙蓉』(60分)
- 6 関東第一高等学校 15:40～16:40
◎○池田優希&関一ファクトリー 作 『あしあとのあと』(60分)
- 7 獨協中学・高等学校 16:55～17:50
◎○複写太郎 作
『シェイクスピア没後 400 年記念 年末恒例<紅白黒紫>演劇合戦
君の縄。シン・ロミオ』(55分)
専門審査員講評 18:00～18:35

●12月27日(火) 開場 午前9時15分

- 1 京華学園 9:30～10:30
○伊藤弘成 作 『ドリームボックス～柵の向こうの天使たち』(60分)
 - 2 成蹊中学・高等学校 10:45～11:45
◎○演劇部+宮本浩司 作 『雨のち』(60分)
 - 3 日本大学第二中学校 12:15～13:05
○宇田川豪大 作 『40度—ミュンヒハウゼンのつどい—』(50分)
 - 4 東京農業大学第一高等学校 13:20～14:20
☆高泉淳子・伊沢磨紀 作 『モンタージュ』(60分)
- 生徒審査員講評 14:30～ 専門審査員講評 15:00～ 表彰式 15:20～16:10
私学大会 100 回突破記念イベント 16:10～16:40 (予定)

2016年12月26日(月)～27日(火)

主催 一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会場 京華女子高校講堂

出場校からのメッセージ

◎＝生徒 ○＝顧問 ●既成作品 ☆＝戯曲集 @＝インターネット

●12月26日(月)

1 白百合学園中学高等学校 ☆如月小春 作 『DOLL』

私たち白百合学園演劇部は、如月小春作『DOLL』を演じさせていただきます。5人の少女の心中事件がテーマの大変難しい脚本であることに加え、初めて演劇にダンスを取り入れる試みをします。ダンスという新たな手段を加えて表現することとおして脚本・役の理解を深める努力をし、自分たちができる最高の舞台を創ろうと日々模索しています。是非私たちの新たな試みにご注目ください！

2 日本大学鶴ヶ丘高等学校 ○むらやまだいすけ 作 『先生の話』

本校演劇部は、休部から復活して3年になりました。昨年の私学発表会では、「特別賞」を頂き、大変励みになりましたし、多くの貴重な経験を積むことができたことに感謝しております。しかし、リハーサルも含め、すべてにおいて未熟さを痛感しました。また、ご迷惑もおかけしました。今年は、部員も少なく1年生ばかりではありますが、少しでも成長した姿をお見せできたらと考えています。ぜひ、よろしくお願いいたします。

3 工学院大学附属中学・高等学校 ○齋藤卓己 作 『キラキラ☆かがやけ』

こんにちは！工学院です！今回上演いたします作品はごく普通的女子高校生たち7人の物語。恋に友情に大忙しの彼女たちにある日事件が。青春の全てが詰まったお話、「キラキラ☆かがやけ！」歌にダンスにコントに……工学院カラー全開の1作となっております！面白い時は大声で笑って感動したときは全力で涙を流し、ラストはたくさんの手拍子で皆さんも一緒に楽しんでくださると嬉しいです！是非最後までご観劇ください！

4 日本大学豊山女子高等学校・中学校 ◎演劇部 作 『学園天国』

لقب كانت متعة اللعب. هذه المرة تخريب صورتنا نحر مد رسة
أنا صمزلو بضلتم مشا هدة بعيون الد افئة.
الشبح الفول مو قد Mandem - Anaruyan

5 品川女子学院 ☆越智 優 作 『夏芙蓉』

「私、ひとつだけ、絶対に忘れないことがあります。」
県立ヤツシマ高校の卒業証書授与式が行われた日、少女たちはそこへ集った。彼女たちのえがく、繊細で複雑な人間模様。生きる意味、死ぬという事。様々なことを私たちに問いかける。
この物語は、かなり前に書かれた作品であってなお、未だ語り継がれる名作です。それを私たち、品川女子学院演劇部が精一杯演じます。
これが私たちの夏芙蓉。

6 関東第一高等学校 ◎池田優希&関一ファクトリー 作 『あしあとのあと』

傷つき前に進むことができないでいる少女が立ち上がり、もう一度一步を踏み出す物語を作りたいと取り組んできました。少女は日々をただ生きることに困難を感じている、前に進めない…座り込む少女が立ち上がるためにたくさんの優しさが少女に寄せられる、そんな時間を会場の全ての人と過ごしたいと思います。優しく、けれど前進しないことを許さない厳しさ。私たちも立ち上がり一步を踏み出すためにこの作品と戦います。

7 獨協中学・高等学校 ◎○複写太郎 作

『シェイクスピア没後 400 年記念 年末恒例＜紅白黒紫＞演劇合戦 君の縄。シン・ロミオ』
シン・ゴジラは怪獣だから火を吐く。でも人間だって時には顔から火が出ることがある。先日、＜男子校特集＞という触れ込みで、『えんぶ(演劇ぶっく)』の取材を受けた。そのとき、ひとりの部員が演劇ライターや編集者に向かって、こともあろうにこう言ったのだ。「シェイクスピアに、マクベスってのがあるんですよ」。……一瞬の沈黙。僕の顔から炎が噴き出した。「プロ野球に巨人ってのがあるんですよ」とか「東京にスカイツリーってのがあるんですよ」レベルである。それ以来、部室に貼り紙をした。①「ってのがあるんですよ」禁止。② 無知は罪。あっ、今回のテーマが決まってしまった。だから、シン・ロミオ。

●12月27日(火)

1 京華学園 ◎伊藤弘成 作 『ドリームボックス～柵の向こうの天使たち』

ひさ～しぶりの私学大会出場です。皆さんと一緒に上演ができて、とても嬉しいです。今回の作品は、ある社会問題をあつかった物語です。皆さんのごく身近におこりながら、皆さんが知らない事実をあぶりだした作品です。さて、どんな物語でしょう。テーマは、私たちが、毎回、訴えている“生命の大切さ”です。歌って踊ってのお芝居ではありませんが、シリアスな物語の中に、ホッと明かりが灯るような作品です。そして、ご覧になる方々に「自分も考えなきゃ」と思わせる作品です。「家族」がさらに愛おしくなります。その「家族」とは…ご期待下さい。

2 成蹊中学・高等学校 ◎○演劇部+宮本浩司 作 『雨のち』

この作品は、昭和 39 年から 50 年、再びオリンピック開催が決まった東京で、シャッター商店街となってしまった街です。ずっと生きてきた老人達のお話です。廃れた商店街でも、彼らの人生が詰まった大切な場所。もし、そんな大切な場所を捨てると言われたら……。彼らが下した決断、そして決意には、それぞれの想いが詰まっています。その想いの深さ、そして長年一緒に生きてきた仲間との絆を感じていただけたら幸いです。二年生の先輩方が引退してしまい、一年生で臨む初めての大会です。全く新しい成蹊高等学校演劇部の新たなスタートを皆さんに見ていただけたら、とても嬉しいです。

3 日本大学第二中学校 ○宇田川豪大 作 『40 度—ミュンヒハウゼンのつどい—』

私たちが生きている世界に、真実と嘘はそれぞれどのくらいの割合で共存しているのでしょうか。ひょっとしたら、全部嘘かも知れない。全部真実だ、とは、何となく言い切れない気がする。喉が哽れるくらい叫んでも、真実だと認められない真実もある。その真実は、嘘になる。パワーアップした恐怖をお届けします。

4 東京農業大学第一高等学校 ☆高泉淳子・伊沢磨紀 作 『モンタージュ』

この作品を上演することは長年の夢であった。キャストが女子 2 名であり、しかも 90 分の作品である。チャレンジはしたいけれど様々の制約で「やはり無理だな」という結論で先延ばしをしてきた。今回、中学 1 年生の頃から演劇部で活動してきた 2 名が高校 1 年生となり、部員全員に話をして上演できることが決まった。演じる年代の幅が大きく、演技力が試される作品。温かい応援をお願いします。

『日韓友好 TOKYO ドラマフェスタのあゆみ』

2007 年 1 月	ドンシン (東新) 女子高校 (全羅南道・光州市)	ソフォクレス 『エレクトラ』
2008 年 1 月	キョンファ (京花) 女子高校 (京畿道・廣州市)	キム・ジョンスク 作 『红柿がなる家』
2009 年 1 月	ヨンドゥンポ (永登浦) 女子高校 (ソウル特別市)	ハム・ヒョンシク 作 『約束』
2010 年 1 月	クァンジュ (廣州) 高校 (京畿道・廣州市)	シン・ユンス 作 イ・ギボク 脚色 『エクスペンシヴ・アップル』
2011 年 1 月	キョンファ (京花) 女子イングリッシュビジネス高校 (京畿道・廣州市)	キム・ジョンスク 作 イ・ギボク 脚色 『アカシアの花びらは落ちて』
2012 年 1 月	ソンリン (善隣) インターネット高校 (ソウル特別市)	イ・ヤング 作 『Between, the pages』
2013 年 1 月	チョンジュ (全州) 女子高校 (全羅北道・全州市)	イ・ジヒョン 作 『RAINBOW BLOSSOM』

本会の顧問で全国高校演劇協議会名誉会長でもいらっしゃる内木先生と、社団法人韓国演劇協会とのつながりがきっかけで始まった「日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ」。毎年、その年度の韓国＜全国青少年演劇祭＞最優秀校が来日し、素晴らしい作品を上演してきました。韓国代表校公演の後には、生徒実行委員による手作りの「日韓演劇交流会」が行われ、同じ演劇を志す高校生同士、言葉を越えて交流を深めています。都合により来日公演は途切れてしまっていますが、2013 年夏から日大二、十文字、獨協、東京学芸大学附属が渡韓して上演。韓国からの来日公演も復活すべく調整中です。